



2025年12月18日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ミ ラ テ ィ ブ
代 表 者 名 代表取締役最高経営責任者 赤 川 隼 一
(コード番号：472A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役最高財務責任者 須 山 敏 彦
(TEL. 03-6910-4866)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2025年12月18日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）における当社グループの業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項 目	決 算 期	2025年12月期 (予想)			2025年12月期 第3四半期累計期間 (実績)	
			対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率
売 上 高		7,004	100.0	—	5,211	100.0
営 業 利 益		229	3.3	—	276	5.3
(参 考) 調 整 後 営 業 利 益		276	3.9	—	250	4.8
経 常 利 益		163	2.3	—	233	4.5
親会社株主に帰属する 当 期 (四 半 期) 純 利 益		593	8.5	—	231	4.4
(参 考) 調 整 後 当 期 (四 半 期) 利 益		639	9.1	—	205	3.9
1 株 当 た り 当 期 (四 半 期) 純 利 益		37円55銭			14円69銭	
(参 考) 調 整 後 1 株 当 た り 当 期 (四 半 期) 利 益		40円49銭			13円05銭	
1 株 当 た り 配 当 金		0 円00銭			—	

- (注) 1. 2024年12月期連結会計年度が連結財務諸表の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を2024年12月期連結会計年度末日としていることから、2024年12月期連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、2024年12月期については下記に個別の業績を記載しております。
2. 調整後営業利益、調整後当期（四半期）利益及び調整後1株当たり当期（四半期）利益につきましては、当社の業績を評価する上で、通常の営業活動の結果として投資家が有用と考える財務指標であり、上場準備等で発生する一過性の費用等について除外しております。
- ① 調整後営業利益＝営業利益＋上場関連費用－租税公課調整額
- ② 調整後当期（四半期）利益＝当期（四半期）利益＋上場関連費用－租税公課調整額
3. 上場関連費用とは、上場審査に係る費用、上場準備に伴う主幹事証券会社等へのアドバイザー費用、目論見書印刷費用等、当社株式の上場にかかる一時的な費用であります。
4. 租税公課調整額とは、租税公課のうち法人事業税にかかる外形標準課税部分を販売費及び一般管理費として処理したものであり、2025年12月期第4四半期から当社に適用される見込みである外形標準課税適用法人前提の税率が2025年12月期第1四半期から適用されたものと仮定して、2025年12月期第3四半期累計期間の数値を算出しております。
5. 2025年12月期第3四半期累計期間（実績）の1株当たり四半期純利益及び調整後1株当たり四半期利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
6. 2025年12月期（予想）の1株当たり当期純利益及び調整後1株当たり当期利益は、公募予定株式数（1,176,400株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。
7. 2025年9月1日付で、株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。上記では2025年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期（四半期）純利益及び調整後1株当たり当期（四半期）利益を算出しております。

【個別】 (単位：百万円、%)

項 目 \ 決算期	2024年12月期 (実績)	
		対売上 高比率
売 上 高	6,096	100.0
営 業 損 失 (△)	△245	—
経 常 損 失 (△)	△257	—
当 期 純 損 失 (△)	△259	—
1 株 当 た り 当 期 純 損 失 (△)	△16円49銭	
1 株 当 た り 配 当 金	0 円00銭	

- (注) 1. 2024年12月期（実績）の1株当たり当期純損失（△）は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2025年9月1日付で、株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。上記では2024年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純損失（△）を算出しております。

【2025年12月期業績予想の前提条件】

当社は2024年12月期が連結財務諸表の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を2024年12月期末日としていることから、2024年12月期においては貸借対照表のみを連結しているため、本資料における前期対比については2024年12月期の当社の単体決算との対比で記載をしております。

1. 当社グループ全体の見通し

当社グループは、「好きでつながり、自分の物語が生まれる居場所」をビジョンに、スマートフォン一つで簡単にライブ配信ができるプラットフォーム「Mirrativ」を提供しております。当社グループでは、ゲームやエンターテインメントを、出自や言語を超えて人と人を繋ぐ強い力をもった媒介であると考え、特にゲーム配信に注力しております。また、当社グループは、「わかりあうこと」は人類の究極的な願い、「なかなかわかりあえないこと」は人類の永遠の課題だと考えており、「わかりあう願いをつなごう」をミッションとして掲げ、ライブ配信プラットフォーム「Mirrativ」の企画、開発、運営を行っております。

当社グループが属するデジタルエンターテインメント市場においては、2025年5月公表のエンタメ・クリエイティブ産業政策研究会の中間とりまとめ（経済産業省）によると、世界のコンテンツ市場規模は2018年から2027年までCAGR 5%で成長すると予測されているなど拡大基調が継続しております。また、「ファミ通モバイルゲーム白書2025（株式会社角川アスキー総合研究所）」によると、2024年の世界のモバイルゲーム市場規模は12兆4,103億円と試算されているほか、「2025年 VTuber市場の徹底研究～市場調査編（株式会社矢野経済研究所）」によると、2025年度のVTuber市場は前年度比120.0%の1,260億円と予測されている等、モバイルゲーム、VTuber等の新興領域は高成長を維持しております。

さらに、技術面では高速通信（5G）とスマートフォンの普及により、高画質・低遅延の配信が可能になり、誰もが手軽に配信者になれる環境が整っております。コンテンツ面ではゲーム実況や雑談、音楽、VTuber配信、さらにスポーツ中継や企業のイベント配信等、コロナ禍を経てライブ配信コンテンツの多様化が一層進みました。

このような経営環境の中、当社グループは、ライブ配信プラットフォームでは、画一的なコンテンツではなく、個々のユーザーの興味関心に合致した、よりパーソナルでインタラクティブな体験が求められる傾向が強まっており、誰もが手軽に情報発信できるようになった現代において、人々は共感できる「物語」を持つ個人やコミュニティに集い、自身の「物語」を共有することで、より深い繋がりや自己実現を求めているものと捉えております。

このような変化は、当社グループが展開するライブ配信プラットフォーム「Mirrativ」にとって、大きな事業機会をもたらすと認識しており、当社グループが創業期から掲げている「好きでつながり、自分の物語が生まれる居場所」というビジョンは、まさにこのような社会の変化に対応するものであり、ユーザー一人ひとりの「物語」が輝き、共感を通じて新たな繋がりが生まれる場を提供することを目指しております。

一方で、このような個性を重視する時代においては、多様なニーズに対応できる柔軟なプラットフォーム設計や、ユーザーが安心して自身の「物語」を発信・共有できる健全な環境の整備が、より一層重要であると考えております。また、競争が激化する市場において、ユーザーの多様な「小さな推し」を見つけ、繋げるための独自の価値提供が求められております。当社グループは、このような経営環境の変化を的確に捉え、ユーザーの「物語」を尊重し、その実現を支援するプラットフォームとなることで、持続的な成長を目指してまいります。

以上より、当社グループの2025年12月期の連結業績予想は、売上高7,004百万円（前期比14.9%増）、営業利益229百万円（前期は営業損失△245百万円）、経常利益163百万円（前期は経常損失△257百万円）、親会社に帰属する当期純利益593百万円（前期は当期純損失△259百万円）を見込んでおります。なお、2025年12月期の業績予想は9月までは実績値、10月以降は実績等を勘案し見通しを立て直したのになります。

2. 業績予想の前提条件

（1）売上高

当社グループの事業はミラティブ事業の単一セグメントであり、主な売上高は、ライブ配信プラットフォーム「Mirrativ」における「課金売上」と「広告売上」から構成されております。当社グループは、ミラティブ事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略いたします。

課金売上は、流入したユーザーの定着及び課金化に加えて、ロイヤルユーザー（月額課金額10,001円以上の有償コイン消費ユーザー）の拡大、さらにはARPPU(Average Revenue Per Paid User)の拡大により、売上増加を見込んでおります。具体的には、課金売上は当事業年度に新たに増加する新規ユーザーと過年度から継続的に利用をいただいている既存ユーザーごとに、ユーザーの課金開始時期や課金金額別に「課金UU(Unique User)×ARPPU」の積み上げを行うことにより算出されますが、新たなデザインのエモモの提供及びランキング施策を継続的に実施していくほか、ライブゲームについては、リリース済の既存タイトルに加え、新規タイトルをリリースすることにより売上拡大を見込んでおり、課金売上合計として6,586百万円(前期比13.4%増)を見込んでおります。

広告売上は、引き続きゲーム会社とのタイアップ広告を実施することに加え、グループ会社間での顧客相互紹介等により、297百万円(前期比2.8%増)を見込んでおります。

以上により、2025年12月期の売上高は、7,004百万円(前期比14.9%増)を見込んでおります。なお、2025年12月期第3四半期累計期間の売上高は5,211百万円です。

(2) 売上原価

売上原価は、主に決済代行業者やApple Inc.、Google LLCが運営するプラットフォーム上での決済に伴う決済手数料、配信者還元費、アバター製作費、ライブゲームの開発費及び運営費、サーバー費、労務費等により構成されております。計画策定にあたり、労務費についてはデジタルコンテンツ制作のためのデザイナー及びエンジニアを対象として2025年12月期の採用増を踏まえて試算をしております。配信者還元費については、ミラティブスターズ制度(※申請条件及び審査に合格したユーザーを対象にした、報酬を現金で受け取ることができる制度)に伴い、支払いが見込まれる費用を算出しております。

以上により、2025年12月期の売上原価は、4,817百万円(前期比0.6%増)を見込んでおります。なお、2025年12月期第3四半期累計期間の売上原価は3,565百万円です。

(3) 販管費及び一般管理費、営業利益

販管費及び一般管理費は、主に売上原価に算入されない役員報酬、給与手当、法定福利費等の人件費、主に新規ユーザーの獲得を目的とした広告宣伝費、ランキングイベントに伴う諸費用やライバー事務所等への販売促進費、上場関連費用を含む支払手数料及び支払報酬等により構成されております。人件費については、2025年12月期の採用増を踏まえて試算をしております。広告宣伝費については、主にNUU獲得に向けたデジタルマーケティング費用等を合算して算出しております。

以上により、2025年12月期の販管費及び一般管理費は、1,957百万円(前期比25.9%増)、営業利益は229百万円(前期は営業損失△245百万円)を見込んでおります。なお、2025年12月期第3四半期累計期間の販管費及び一般管理費は1,369百万円、営業利益は276百万円です。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外損益は、(株)キャスコードの持分法適用会社化に伴うのれん償却費、金融機関からの借入に伴う支払利息等を主な要因として△66百万円を見込んでおります。なお、当社では、新規株式上場に係る諸費用は、営業外費用ではなく、販売費及び一般管理費として計上しております。

以上により、2025年12月期の経常利益は163百万円(前期は経常損失△257百万円)を見込んでおります。なお、2025年12月期第3四半期累計期間の経常利益は233百万円です。

(5) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

2025年12月期の通期連結業績及び今後の業績見通し等を踏まえ、企業会計基準適用指針第26号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に基づき、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当連結会計年度において、繰延税金資産及び法人税等調整額に527百万円を計上する見込みとなりました。

以上の結果、2025年12月期の親会社株主に帰属する当期純利益は593百万円(前期は当期純損失△259百万円)を見込んでおります。なお、2025年12月期第3四半期累計期間の親会社株主に帰属する当期純利益は231百万円です。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月18日

上場会社名 株式会社ミラティブ 上場取引所 東
コード番号 472A URL <https://mirrativ.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役最高経営責任者 (氏名)赤川 隼一
問合せ先責任者 (役職名)取締役最高財務責任者 (氏名)須山 敏彦 (TEL) 03(6910)4866
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	5,211	—	276	—	233	—	231	—
2024年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 231百万円(—%) 2024年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	14.69	—
2024年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2024年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は2025年9月1日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期第3四半期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であることから期中平均株価を把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,555	2,107	59.3
2024年12月期	3,537	1,876	53.0

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 2,106百万円 2024年12月期 1,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,004	—	229	—	163	—	593	37.55

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 2024年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	15,751,350株	2024年12月期	15,751,350株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	—	2024年12月期	—
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	15,751,350株	2024年12月期3Q	—

- (注) 1. 2025年8月14日開催の取締役会において、A種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式のすべてについて、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、2025年8月29日付で自己株式として取得し、その対価としてA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式1株につき、それぞれ普通株式1株を交付しております。また、同日付ですべてのA種優先株式、B種優先株式及びC種優先株式について、会社法第178条の規定に基づき消却しております。なお、当社は、2025年8月29日開催の臨時株主総会により、2025年8月29日付で種類株式を発行する旨の定款の定めを廃止しております。
2. 当社は2025年9月1日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」「期中平均株式数」を算定しております。
3. 当社は、2024年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第3四半期の「期中平均株式数」を記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

当社グループは、2024年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、「わかりあう願いをつなごう」というミッションのもと、「好きでつながり、自分の物語（ナラティブ）が生まれる居場所」をビジョンとして掲げ、ミラティブ事業を主軸として展開しております。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、海外情勢に起因する世界的な物価上昇や為替相場の大幅な変動、また米国の政策運営及び通商・外交方針を巡る不確実性の高まり等により、我が国経済を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社グループが属するデジタルエンターテインメント市場においては、エンタメ・クリエイティブ産業政策研究会（経済産業省）によると、世界のコンテンツ市場規模は2027年までCAGR 5%で成長すると予測されているなど拡大基調が継続しているほか、オンラインゲーム、ライブ配信、VTuber等の新興領域はネットワーク流通比率の上昇とともに高成長を維持しております。

このような状況の中、当社グループは、「Mirrativ」上において、「エモモ」と呼ばれる独自のアバターを使用したゲーム実況・ライブ動画配信を行うサービスを提供しているほか、ゲームとゲーム実況を融合した体験である「ライブゲーミング」という新領域でのサービス展開も行っております。また、「Mirrativ」外の配信者に対して、配信を盛り上げるコンテンツや収益機会の提供等を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、「Mirrativ」上において、新たなデザインのエモモアイテムをリリースし、新たなイベント及びランキングの開催等、ユーザーを飽きさせない施策を断続的に実施しました。これに加えて、サービス10周年を記念したポップアップストアを東京・神戸の2都市で開催し、多くのユーザーに会場いただきました。また、連結子会社の株式会社アイブレイドにおいて、VTuberのポップアップストアや音楽イベントを開催する取り組み等を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,211,686千円、営業利益は276,462千円、経常利益は233,242千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は231,351千円となりました。

また、当社グループは、ミラティブ事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて18,243千円増加し、3,555,274千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、241,692千円減少し、3,183,517千円となりました。これは主に、現金及び預金が255,472千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、259,936千円増加し、371,757千円となりました。これは主に、投資有価証券が241,792千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて213,107千円減少し、1,447,592千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、6,908千円減少し、1,009,063千円となりました。これは主に、買掛金が21,674千円及び未払費用が13,206千円増加した一方で、契約負債が3,084千円及び未払消費税等が44,590千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、206,199千円減少し、438,529千円となりました。これは、長期借入金が206,199千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ231,351千円増加し、2,107,682千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が231,351千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,752,175	2,496,702
売掛金	615,412	595,179
契約資産	6,795	12,760
棚卸資産	283	528
前払費用	49,551	76,863
未収消費税等	—	1,249
その他	990	232
流動資産合計	3,425,209	3,183,517
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	15,221	27,081
その他(純額)	2,775	7,751
有形固定資産合計	17,996	34,832
無形固定資産		
のれん	31,282	26,589
無形固定資産合計	31,282	26,589
投資その他の資産		
投資有価証券	—	241,792
敷金及び保証金	62,541	68,541
投資その他の資産合計	62,541	310,334
固定資産合計	111,820	371,757
資産合計	3,537,030	3,555,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	244,900	266,575
1年内返済予定の長期借入金	260,772	260,772
未払金	82,409	82,532
未払費用	156,163	169,369
未払法人税等	2,360	1,770
未払消費税等	118,777	74,186
契約負債	113,062	109,977
預り金	33,966	43,879
その他	3,560	—
流動負債合計	1,015,971	1,009,063
固定負債		
長期借入金	644,728	438,529
固定負債合計	644,728	438,529
負債合計	1,660,699	1,447,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,834,933	4,834,933
利益剰余金	△3,059,702	△2,828,351
株主資本合計	1,875,231	2,106,582
新株予約権	1,100	1,100
純資産合計	1,876,331	2,107,682
負債純資産合計	3,537,030	3,555,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,211,686
売上原価	3,565,871
売上総利益	1,645,814
販売費及び一般管理費	1,369,352
営業利益	276,462
営業外収益	
受取利息	841
雑収入	637
営業外収益合計	1,479
営業外費用	
支払利息	11,269
為替差損	102
雑損失	22
持分法による投資損失	33,304
営業外費用合計	44,699
経常利益	233,242
税金等調整前四半期純利益	233,242
法人税、住民税及び事業税	1,891
法人税等合計	1,891
四半期純利益	231,351
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,351

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2025年1月1日
至 2025年9月30日)

四半期純利益	231,351
四半期包括利益	231,351
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	231,351

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

持分法適用の範囲の重要な変更

中間連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社キャスコードを持分法の適用の範囲に含めております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（株式取得による持分法適用関連会社化）

当社は、2025年2月7日開催の取締役会において、株式会社キャスコードの株式譲受及び同社が実施する第三者割当増資の引受けにより、同社を当社の持分法適用関連会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約及び株式引受契約を締結いたしました。

（1）株式取得の概要

①被投資会社の名称、事業の内容及び資本金

被投資会社の名称	株式会社キャスコード
事業の内容	キャスティング・投稿業務 システム開発 インターネットサービス開発・運営
資本金	76,774千円

②持分法適用関連会社化した主な目的

当社の新戦略において重要な、「Mirrativ」外の配信者への日常的な接点・ポータルとして中核的位置づけになることを期待できることから、株式会社キャスコードの株式を取得することといたしました。

③持分法適用開始日

2025年3月31日

④株式取得後の持分比率

39.8%

（2）被投資会社の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	266,997千円
取得原価		266,997千円

（3）主要な取得関連費用の内訳及び金額

デューデリジェンス費用等 8,100千円

（4）四半期連結累計期間に係る連結損益計算書に含まれる被投資会社の業績の期間

2025年4月1日から2025年9月30日まで

（5）発生した投資有価証券に含まれるのれん相当の金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生した投資有価証券に含まれるのれん相当の金額

250,945千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力によるものであります。

③償却方法及び償却期間

5年にわたる均等償却

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	15,762千円
のれんの償却額	4,692千円

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、ミラティブ事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。